

# 月刊 健康

THE GEKKAN KENKO

緑内障 大気汚染と健康 女性の不正出血



昭和四十一年二月五日 第三種郵便物認可  
昭和五十年三月二十五日印刷 (第三三三号)  
昭和五十年四月一日発行 毎月一回一日発行

## パパについての 大型保障

災害事故による死亡・ケガ・入院に  
ついてのご家族ぐるみの保障

パパも ママも ボクたちも

大型家族保障 “まごころ”



協栄生命

## 躁鬱氣質

わが家では私が躁氣質で妻が鬱氣質のようだ

田中克己



北杜夫医博の説によれば躁鬱病というものがある由だが、わが家では私が躁氣質で妻が鬱氣質で、「われ鍋にとじ蓋」のことわざ通り、うまく家政が保たれている。私は無闇に本を買ひ漁るし、妻はネギの一枚でも安いところを血眼で探しまわる。

もっとも、時には風が吹く。

それは私が大金を手にしたとき（たとえば思いがけず稿料の先渡しを受けた時など）、たち

まち私が本性を發揮して「閨房医庫」という医書、「台湾平地山地のならわしとでんせつ」という民族学の参考書、顧頡剛「秦漢的方士與儒生」という中国民俗学書、「日支対照薬名字典」という薬学書、「象棋佈局研究」という中国将棋の本、「詳解日韓辞典」という本など手当たりばったりを買って来ると、妻すなわち奥方は「奥の方から床が沈む」とますます鬱になり、その顔を見ると躁の私はますます買ひ漁り

たくなるが、残念ながら残金は僅少でマッチ一箱買えなくなっている。

考えてみると躁同士、鬱同士が結婚したらどうなるか、結果は明らかである。したがって親類中の評判通り「似合いの夫婦」と肯定せざるを得ない。

さて、この夫婦関係は恋愛期間を含めると四十五年で、あと五年で金婚式的長期となる。子供たちは「母に一日でも長生きしてもらって父を見送ってもらいたい」といつているが、私も同感で、妻と離れて旅行するとき、また妻と共に飛行機旅行をする時に、妻に内緒で遺書を書く。最近、某地へ単身飛航した時の遺書は、略すれば次のようになる。すなわち

「葬式は不必要、告別式は勤め先の講堂で行う。

司式は所属某教会の牧師さま。

歌う讚美歌は二八四と二八五の二番。理由は歌いやすいから、私がいちばん好きだからである。

御香典はとれない（仏式だから）、お花料はただけるけれども、なるべく辞退せよ（お返しなどあとがうるさい）。

献花は白バラ一式にする。花は駅前の花屋に相談する（したがって準備に暇がかかるので、死亡が判明してから二週間くらいあとにする）。わが家ならびに研究室にある一万冊の本はなるべく保存する。もし妻が床の沈下を心配するなら、床を補強すること（費用は保険金契約書通り払われれば一〇八〇万円入るから心配いらぬ。その証書を見せれば後払いですむ）。

以上で遺書の大体を書き終えたが、バカらしいことには、主イエス・キリストの御計画では、やはり少し苦しめて悔い改めなければとのことらしく（これは推測にすぎない）、私はいま十二時近く、汗水を入浴で流したあと、また苦汗を垂らしながらやっと一かん上げましたと、手毬唄まじりにここまで来た。やっぱり躁氣質である。

（成城大学教授・東洋史・詩人）



☆：最近どの病院でも老人の受診がふえているようです。一昨年一月から実施された老人医療無料化のあらわれでしょう。老人が経済的な負担に心をくばることなく医療を受けられることは大変よろこばしいことです。しかし医療機関の設備や人員がそのためにふえたわけではないので混雑がひどくなっています。これでは医療に従事する人達の疲労が気づかわれるし、仕事の密度にも影響してくることでしょう。

☆：老人の患者さん達は一様にたくさん薬をかかえこんでいます。病気を治すには薬だけでなく日常の生活や栄養や運動などキメの細かい指導が大切だといわれますが、そこまで手がまわらねているのが現実のようです。老人と共に老人病はまぬがれないかも知

れません。だが、その進行をおくらせたり予防したりすることは、個人個人が心がけねばならないことでしょう。すこやかな老後は中年から準備しなければならぬことです。その参考として本誌を役立ててください。

☆：国連太平洋経済社会委員会の報告によると、このまま現在の人口増加が放置され食糧危機がつつくと、アジア地域で数百万人が餓死する恐れがあると発表しています。米以外の食糧をほとんど輸入に依存しているわが国ですが、世界の食糧事情を考えると食糧の増産と消費の合理化を真剣に考えなければならぬ時代になりました。そこで有本博士に、これからの食生活のあり方について書いていただきました。ところで食糧は増産も重要ですが質の面も大切です。有害な農薬をいっばいかぶった作物が健康にわるいことは言うまでもありません。医師のなかには無農薬の農作物を食べるようにしている方もいますが、さらに一歩進めてそういう栽培方法にとりこんでいる方も

います。高倉博士もその一人ですが、表面上の量や外観だけでなく、真に健康に役立つ作物をつくるための農業技術の開発と普及が望まれます。

☆：大気汚染がなかなか減りそうにもありません。公害病が今もふえつづけているようです。さしせまった対策として汚染地域の自治体と医療機関と住民が一体となって健康を守る方法を構じてほしいものです。梅田教授に大気汚染と呼吸器の病気について書いていただいたのもそのためです。この提言を生かして治療に予防にねばりつよい努力を期待してやみません。(い)

## わが国で初めての〈人間ドック+保険〉システムを完成しました

1.お申込みは……

40歳加入例  
保険期間3年一時払 147,900円



2.人間ドック入り

6ヵ月ごとに人間ドック入り  
最新の検査機器により時間はわずか3時間



3.異常があれば……

専門協定医療機関 東京女子医科大学日本心臓  
血圧研究所及びその関連病院 ガン研究会付属  
病院 東京都済生会中央病院等へ紹介入院可能



4.入院した場合……

入院費 1日1万円  
(但し6日以上入院で60日限度)



5.寝たきり

万ーの場合

成人病による場合 特別保険金100万円  
成人病以外の場合 保険金25万円

- ※ 人間ドック入りの時期が到来しますと、自動的にご案内を申し上げますので、ご予約の必要も、順番をお待ちになることもありません。
- ※ 検査は財団法人協栄生命健康事業団付属の医療機関である協栄健康管理センターで行ないます。(所在地 東京都中央区八重洲1丁目3番地)

東京/日本橋

協栄生命

TEL (270) 8511

昭和五十年四月一日発行(四月号)

第一三二号

編集人

犬 飼 仁 也

発行人

大 森 利 郎

発行所

月刊健康発行所

大阪市東区淡路町五の三〇協栄ビル

印刷所

日本写真印刷株式会社

〒100 東京都千代田区千代田

郵便振替口座大阪三〇五五三七または現金書留でお申し込みください。